

がん検診未受診者アンケート調査報告書

平成 27 年 9 月

板倉町

I 調査設計の概要

§1 調査の目的

病気を早期に発見し、適切に治療することは重要であり、とくに受診率の低いがん検診受診率のさらなる向上対策が必要である。

そのため、がん検診の未受診理由を把握し、受診率向上対策の基礎資料を得ることを目的として本アンケート調査を実施した。

§2 調査の方法

1. 調査期間

平成 27 年 5 月 8 日（金）～ 24 日（日）

2. 調査対象者

平成 27 年度がん検診推進事業（無料クーポン配布事業）の対象者で、町の大腸がん検診を過去 3 年度受診していない人

3. 調査内容

- ①大腸がん検診を受けなかった理由について
- ②受診しやすい環境について

4. 実施方法

- ・調査票は無料クーポン券の案内に同封し、返信用封筒にて回収
- ・調査は、無記名の自記式アンケート調査

§3 回収状況

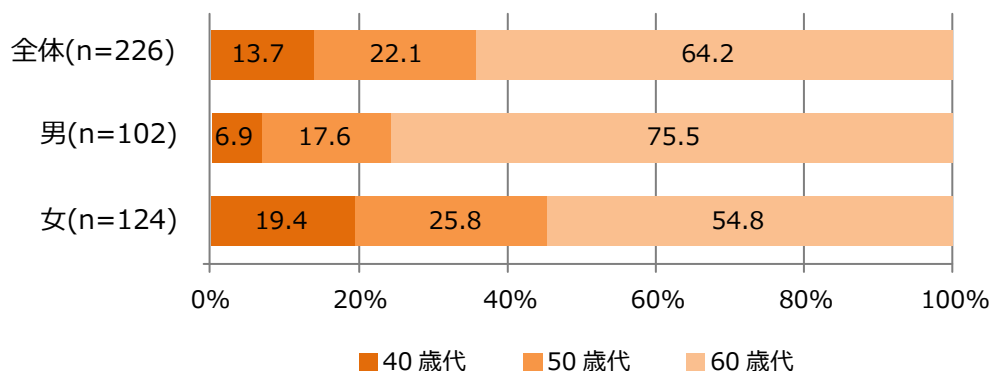
1. 有効回答率

配布数（枚）	回収数（枚）	回収率（%）	有効回答数（枚）	有効回答率（%）
929	244	26.3	226	92.6

2. 有効回答者の属性

	全体	40 歳代	50 歳代	60 歳代
合計	226 (100.0)	31 (13.7)	50 (22.1)	145 (64.2)
男性	102 (45.1)	7 (6.9)	18 (17.6)	77 (75.5)
女性	124 (54.9)	24 (19.4)	32 (25.8)	68 (54.8)

※上段：人数 下段：比率

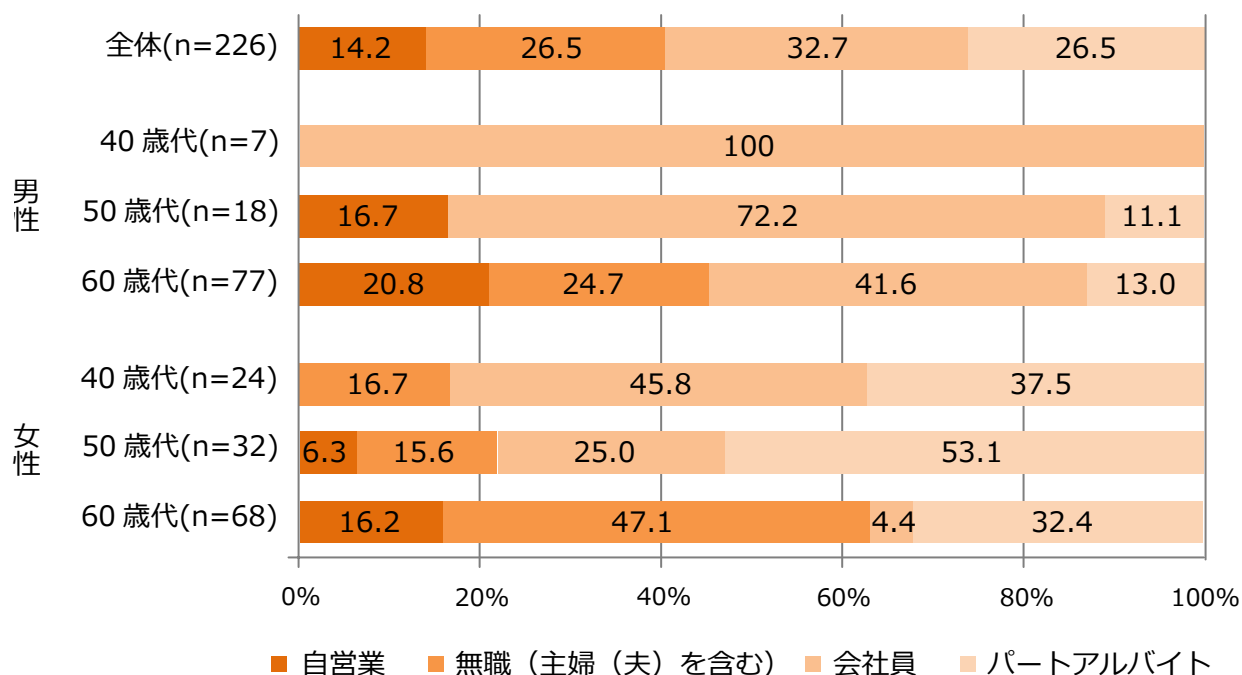


Ⅱ 調査結果

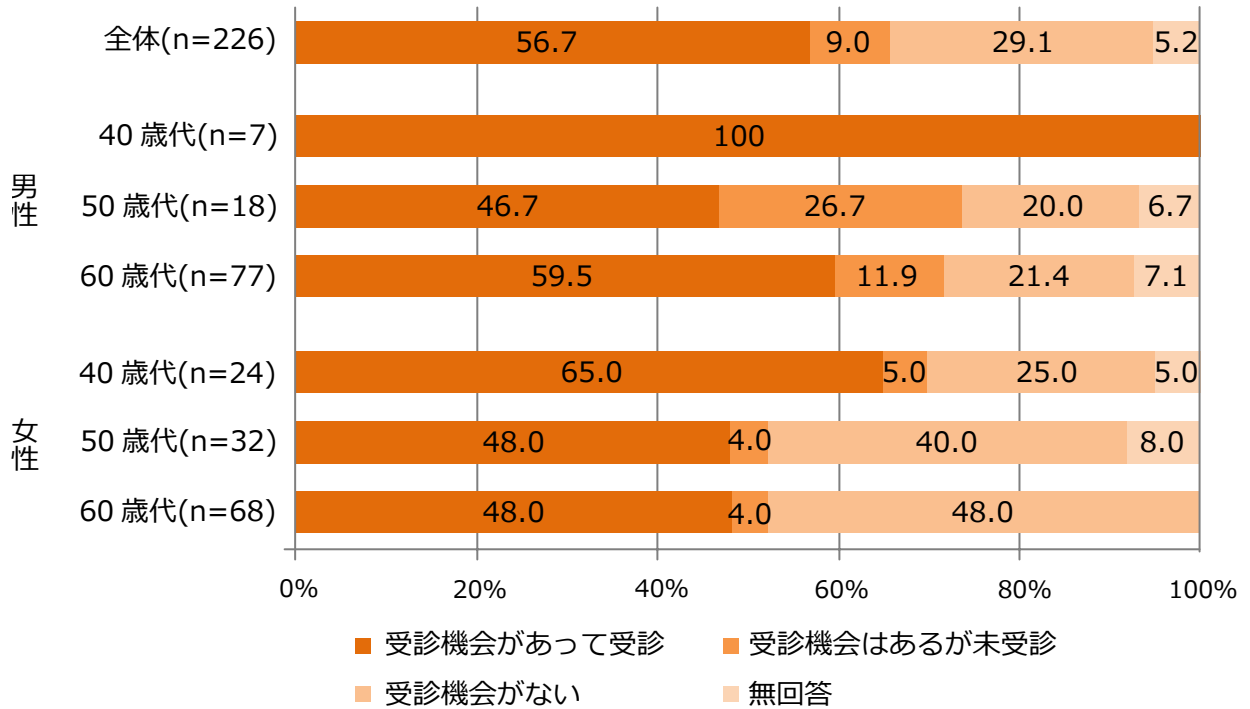
※本報告書では、集計値（比率）を小数点以下第 2 位で四捨五入しているため、各回答の合計が 100%に一致しないことがある。また、複数回答の質問については、回答比率の合計は 100%を超える。

※問 1 は、性別・年齢をたずねる質問のため、「Ⅰ 調査設計の概要」の有効回答者属性を参照

問 2 あなたは働いていますか。



問2の追加質問 会社員・パートアルバイトのかたで、職場で何らかの「がん検診」を受診する機会がありますか。

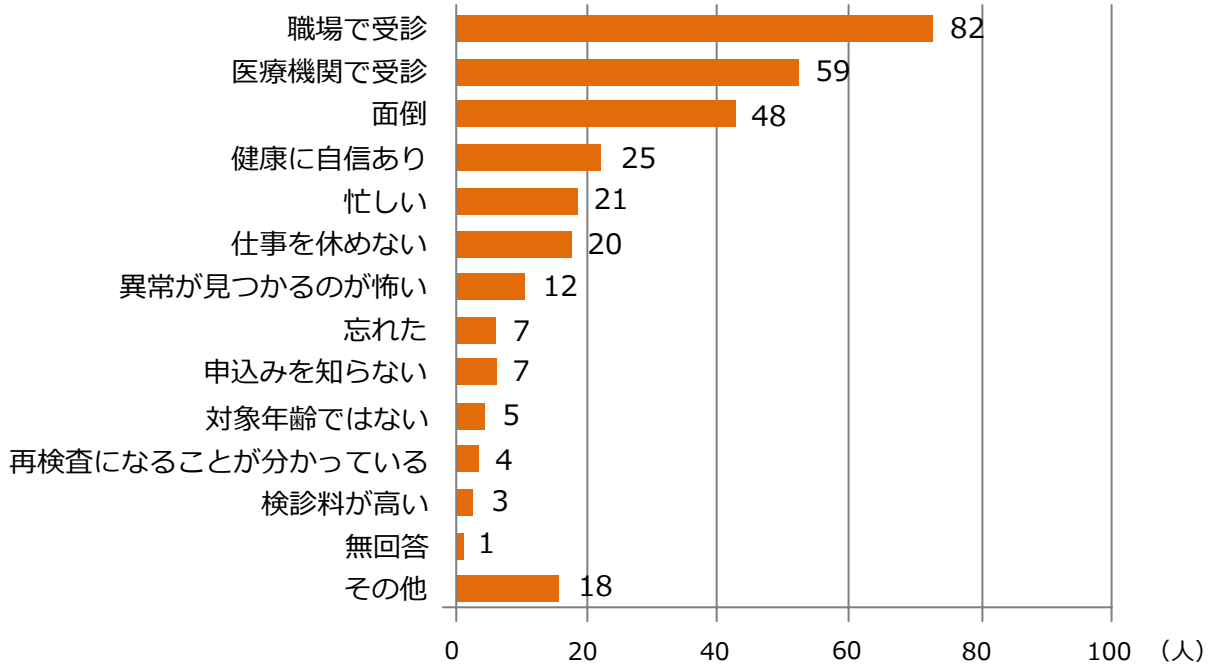


全体では、半数以上の方が職場で検診の受診機会があって受診をしているが、4割は受診機会があっても未受診、または受診機会がなかった。男性に比べて女性の方が受診機会がないとの回答が多いのは、会社員よりパートアルバイトの割合が高いためと考えられる。

問3 過去3年間、町の「大腸がん検診」を受けなかった理由は何ですか。

※複数回答あり

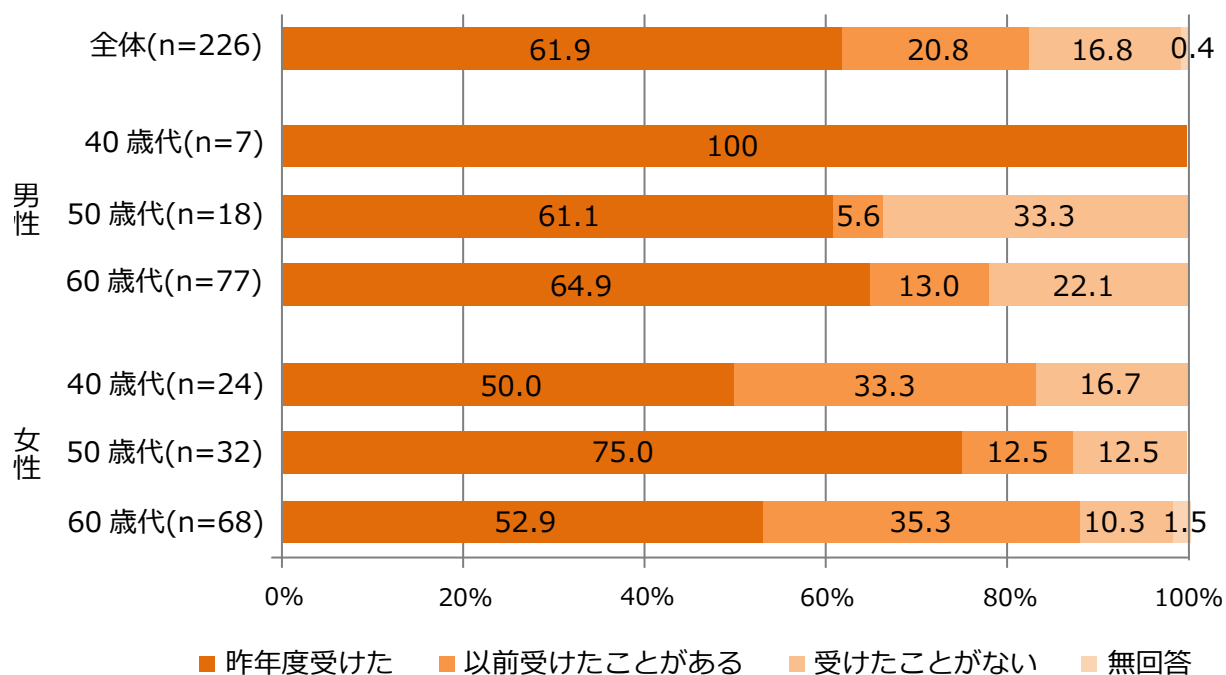
n = 226



- その他の回答：
- ・配偶者の加入している健康保険で受診
 - ・以前受けたことがあるから
 - ・検査や準備が大変だから
 - ・小さい子どもがいるから
 - ・体が不自由で、一人で会場に行けないから

町の大腸がん検診を受けなかった理由として多かった回答は、「職場で受診していたから」、次いで「医療機関で受診していたから」となり、6割以上の人は町の検診以外で受診していた。「面倒だったから」や「健康に自信があったから」など、受診の意思がない人も少なからずあり、男性に比べて女性の方がその傾向が強かった。

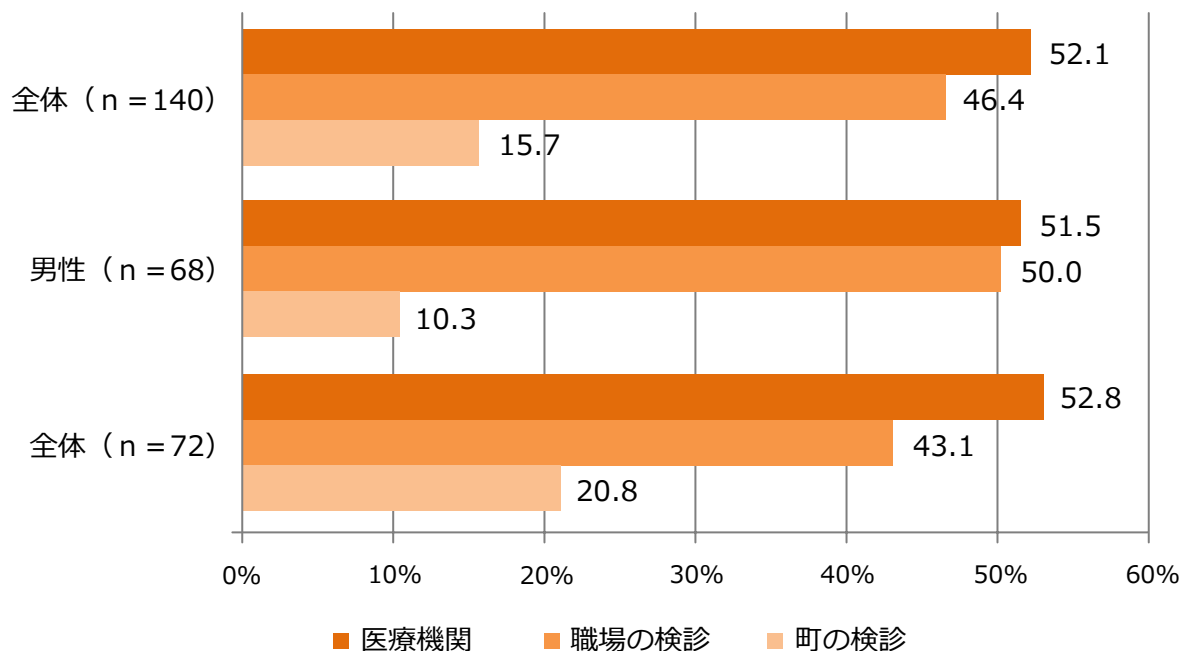
問4 あなたはこれまで、何らかのがん検診を受けたことがありますか。



昨年度何らかのがん検診を受けた人は、全体で約6割で、女性より男性の方が受診した人が多かった。しかし、がん検診を受診したことがない人は、男性の方が多く、特に50歳代の男性の約3割が未受診の状態だった。

問4の追加質問 昨年度何らかのがん検診を受けたかたはどこで受けましたか。

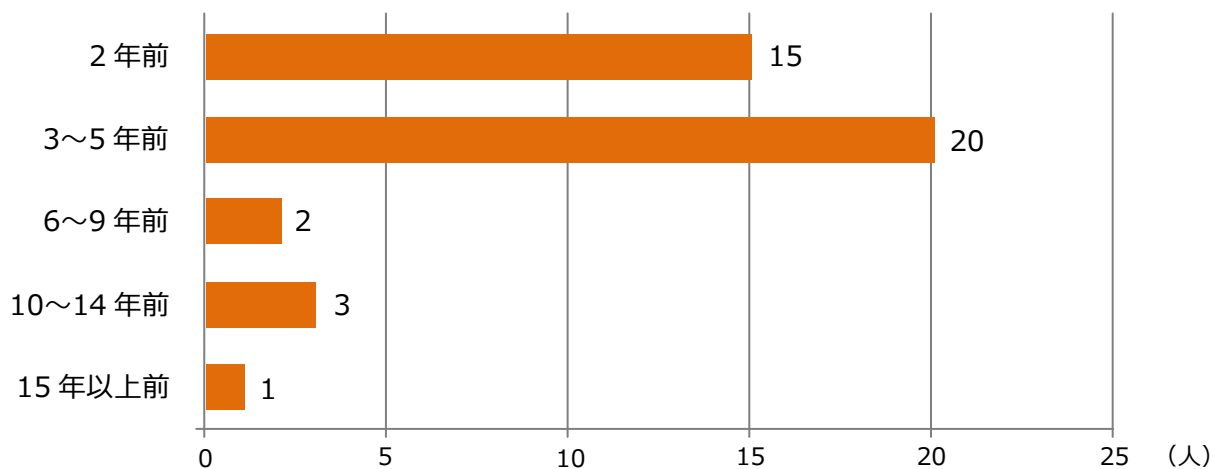
※複数回答あり



男性女性ともに、医療機関でがん検診を受診した割合が最も高く、約5割だった。男性の方が職場受診が多く、女性の方が町の検診受診が多かった。

問4の追加質問 以前何らかのがん検診を受けたかたは何年前に受けましたか。

n = 41

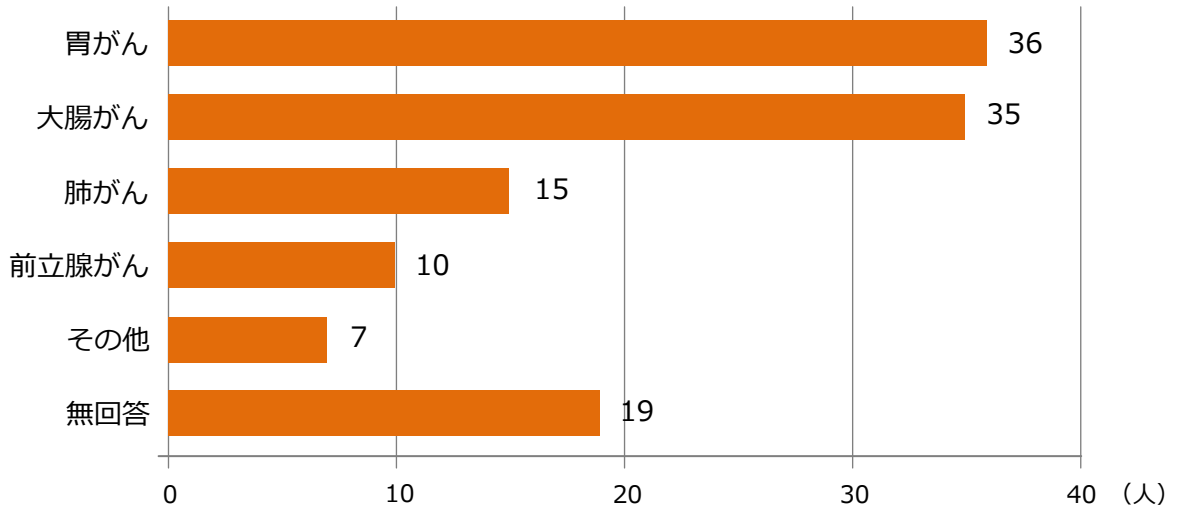


がん検診を受けていない人のほとんどは、5年前までに受診歴があったが、10年以上もがん検診を受診していない人もいた。

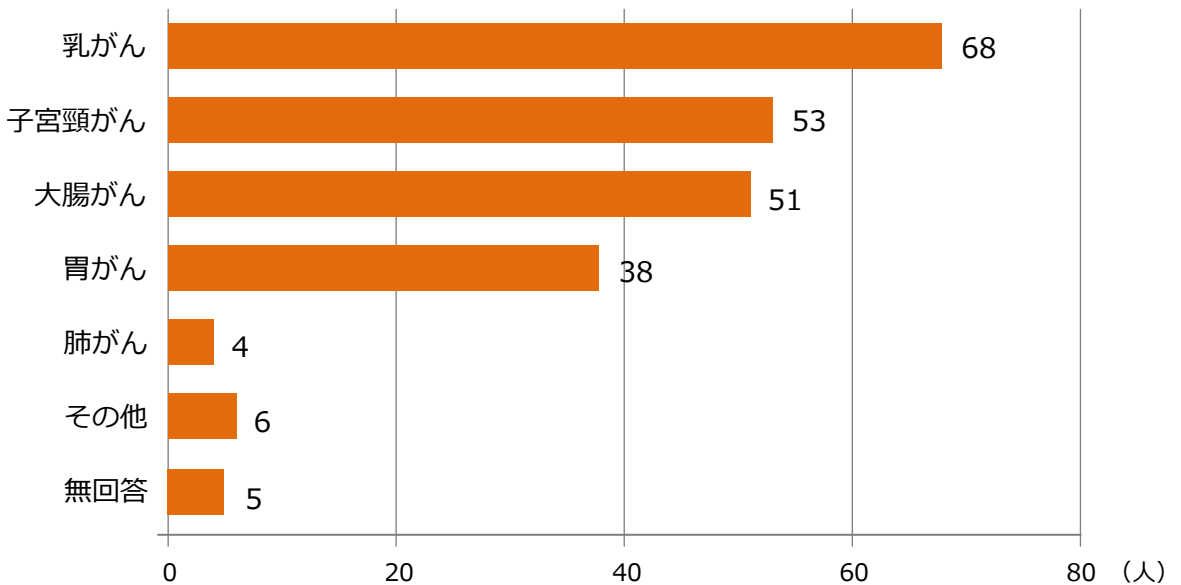
問4の追加質問 何らかのがん検診を受けたかたはどの検診を受けましたか。

※複数回答あり

<男性 n = 82>



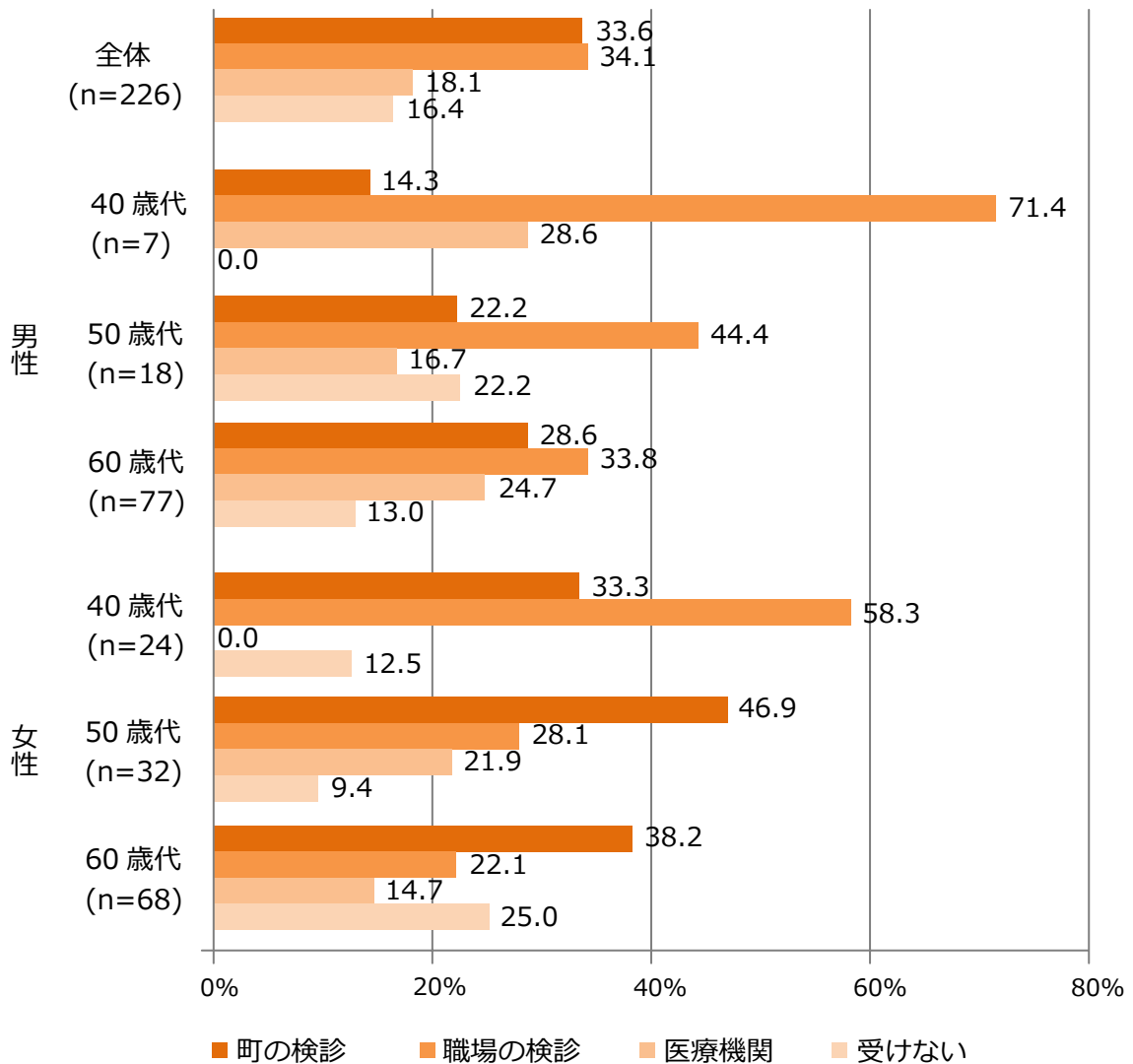
<女性 n = 106>



受診したことがあるがん検診について、男性では「胃がん検診」が最も多く、次いで「大腸がん検診」、女性では「乳がん検診」が最も多く、次いで「子宮頸がん検診」だった。男性では男性特有のがん検診の受診者数の割合は低かったが、女性では女性特有のがん検診の受診者数の割合が高かった。

問5 あなたは今年何らかのがん検診を受けますか。

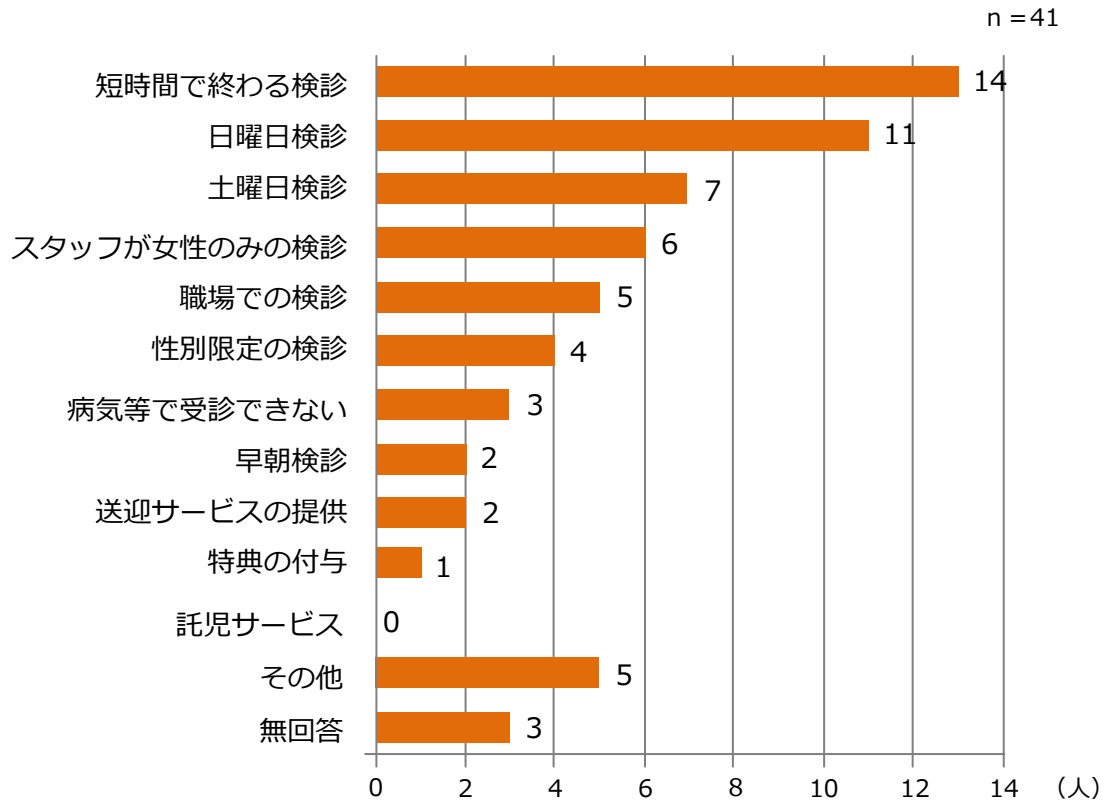
※複数回答あり



全体では、8割以上の方が町の検診や職場など、がん検診の受診を予定しているが、5人に1人は検診を受けないと回答している。特にがん検診を受けないと答えた割合が高かったのは、60歳代の女性で、25%だった。問3の町の大腸がん検診未受診理由で、「面倒だから」と答えた割合が最も高かったのも60歳代女性だったので、検診受診を面倒だから受診しないと考える人が多いのではないかとと思われる。

問5の追加質問 今年何らかの検診を受けないかたは、どうすれば受診しやすいですか。

※複数回答あり



- その他の回答：
- ・受診したいが、仕事と調整がつかない
 - ・体力に自信がないので
 - ・がん検診をもっと強く勧めてほしい
 - ・特になし

がん検診を受けない人に受診しやすい状況をたずねたところ、最も多い回答は「短時間で終わる検診」で、60歳代の回答が多かった。待ち時間が少なければ、受診しやすいと考えている人が多いことが分かった。また、「土曜日・日曜日検診の実施」の回答は40、50歳代が多く、仕事の休みの日に受けたいのではないかと考えられる。現在板倉町では土日検診を実施しているが、周知不足も考えられるので、検診全体のPRも必要と思われる。

女性では、年代が上がるにつれて、「スタッフが女性だけの検診」や「女性限定の検診」を設けると行きやすいとの回答が目立った。

Ⅲ 最後に

板倉町の平成 26 年度がん検診の受診率は、女性のがん検診（子宮頸がんおよび乳がん）でおおむね 35%、大腸がん検診 23%、胃がん検診 11%、肺が 50%となっており、女性のがん検診以外は年々減少傾向にある。町でのがん検診受診率が減少する理由を把握するために当アンケート調査を実施したが、回答者全体で 7 割近い人が職場または医療機関で何らかのがん検診を受診していた。町の検診を含めると 8 割以上となり、町民の多くががん検診を受ける機会があることが分かった。しかし、がん検診を今まで受けたことがない人や、面倒、健康に自信がある等の理由で受診の意思がない人も少なからずあり、今後は、総合健診の推進や休日検診の積極的な PR、レディース検診の設定など未受診理由の改善に努めたい。